

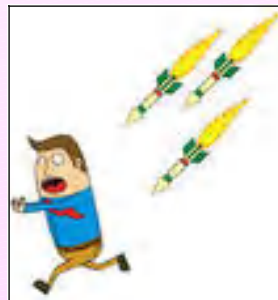
戦争反対！ 安保関連法案撤回！ シリーズ⑩

他国が攻めてきたらどうするの？ 国を守るために安保法制は必要なの？ その2

第1段（本紙No.2050）で、他国から日本が攻撃された場合、個別的自衛権で対応するため、集団的自衛権に基づく安保関連法が必要というのは大きな間違いという説明をしました。

しかし、だからと言って個別的自衛権の行使、つまり日本単独で他国と戦争をするということは良くないことです。戦争は悪いに決まっています。よく「他国が攻めてきたらどうするの？」と言う人がいます。その言葉に惑わされたりしませんか？

日本には何か攻められる理由はあるのでしょうか？ 過去、資源を強奪するために戦争をしたことがあります、今はそういう時代でしょうか？ 国際社会が許しません。何のために日本を攻撃するのでしょうか？ 日本を攻撃



して得ら

れるものは何かあるのでしょうか？ 根拠が無いのではありませんか？ 「ミサイルが飛んで来るぞ！…」と煽る人たち、「オオカミが出るぞ！…」の昔話、何か共通点を感じませんか？

今も昔も、戦争をしないために重要なのが外交です。平和的に外交を進めるのは、国の重要な役割であり使命なのです。